

# 一般財団法人 切手の博物館

## 2015年度 事業報告書

2015(平成27)年4月1日～2016(平成28)年3月31日

〔概要〕公益目的支出計画に基づき、郵便切手文化の普及と振興に寄与する事業を進めています。2015年度は、ワークショップ「切手はり絵」の平日導入、フリーマーケット式のイベント「Otegamiフリマ」の開催、手紙をテーマにした紙芝居の上演、書籍出版の助成金制度の開始、といった特徴があります。また、2016年4月からの切手の博物館開館20周年記念事業に向けて準備を進めました。

### I. 継続事業

#### 1. 収蔵品の収集、保存、公開

##### (1) 企画展示・特別展示の開催

###### ①企画展示

1階展示室で、3ヵ月ごとにテーマを替えて行いました。展示内容及び広報については、企画展示委員会において協議しています。

会期	展覧会名	開館日数	入館者数(名)
4月1日(水)～6月28日(日)	コーヒーとお茶の時間	77	4,703
7月1日(水)～9月27日(日)	美しい昆虫～甲虫編～	77	4,145
10月1日(木)～12月27日(日)	城	76	3,697
1月5日(火)～3月30日(水)	366日	74	3,240
合計		304	15,785

###### ②特別展示

○3階展示室で、有料展を次の通り開催しました。

会期	展覧会名	開館日数	入館者数(名)
7月18日(土)～8月16日(日)	きて★みて★きって2015	26	1,271
12月5日(土)～12月25日(金)	切手の博物館のクリスマス	18	1,044
1月30日(土)～2月14日(日)	愛の切手展	14	763
合計		58	3,078

○3階展示室で、無料展として「第13回切手はり絵コンテスト作品展」[9月5日(土)～9月23日(水・祝)]を開催しました。

###### ③切手の博物館開館20周年特別展〔準備作業〕

会期	展覧会名
2016年5月1日(日)～5月5日(木・祝)	切手という小さなキャンバス

※以下の期日に、豊島郵便局が臨時出張所を開設、小型印の押印サービスを実施しました。

5月17日(日)…国際博物館の日

7月23日(木)…ふみの日

10月3日(土)…「城」展

12月5日(土)・12月19日(土)～12月25日(金)(21日月曜を除く)…切手の博物館のクリスマス

2016年2月11日(木・祝)～2月14日(日)…愛の切手展

## (2) 蔵書の公開

図書閲覧室では、蔵書を開架図書と閉架図書に区分し、一般の利用に供しています。閉架図書の利用は116名、372冊でした。

## (3) 入館料の特典

①開館以来、毎月ふみの日(23日、休館日の月曜日の場合は翌24日)は入館無料としています。

②厚生労働省が推進する「児童福祉週間」に協力し、5月5日(火・祝)～5月10日(日)は小中学生の入館料を無料としました。(小中学生の入館者数28名)

③国際博物館会議(ICOM)及び(公財)日本博物館協会が提唱する第13回「国際博物館の日(5月18日)」の記念事業として、(本年度は月曜休館のため振り替えて)5月17日(日)を入館料無料としました。(入館者数309名)

④バレンタインデー(2月14日(土))を、女性の入館料無料の日としました。(女性の入館者数78名)

## (4) 資料の収集・保存管理

①日本及び世界各国の新切手を常時追加購入し、発行国・地域別にレファレンス・コレクションとして整理・管理を行っています。

②図書収蔵委員会を月1回開催し、郵便切手関連資料の購入検討、新規受入図書の項目別クロス・インデックス作り及び収蔵図書の件名統一を続けています。

③図書室へは50名の方から、418冊(単行本170冊、雑誌248冊)が寄贈されました。(公財)日本郵趣協会及び(株)日本郵趣出版発行の全刊行物、並びに郵趣団体発行の支部報や雑誌の寄贈も受けています。

## 2. 展覧施設の運営管理

### (1) 来館者サービス

①1階のパソコン・コーナーでは、企画展示のテーマに合わせて全国の風景印を紹介するほか、切手の博物館のホームページを閲覧できるようにしています。

②展示の観覧を助けるルーペとハンドライトの貸出しを行いました。(利用人数 それぞれ59名、269名)

③図書室閲覧においては、国内外の新刊本・話題本などを紹介すると同時に、一部の書籍はその場で購入できるようにしています。また、コピーサービスを提供しています。(コピー利用人数166名)

④すべての企画展示で、ホームページにプレゼント・クーポンを付けました。(交換人数750名)

⑤来館のたびにスタンプを押し、一定の数になるとプレゼントと交換できる「ウェルカム・カード」を発行しました。(プレゼントとの交換人数169名)

⑥小中学生向けに、展示を見て答える「切手クイズ」を実施しました。(参加者1,245名)

- ⑦小中学生向けに、ホームページでも「切手クイズ」を実施しました。(参加者86名)
- ⑧切手の博物館のイベント案内や新切手の発行案内などを掲載した情報チラシ「MAYっこ」を、毎月1回、ふみの日(23日)に発行しました。
- ⑨1・2階の入館料を日本の未使用切手で支払えるサービスを続けています。(利用人数858名)
- ⑩1・2階の入館を対象とした「年間パスポート」を発行しました。(期末在籍数41名)
- ⑪外部イベントのスタンプラリーとのコラボ企画として、「切手の博物館でスタンプを押して記念品プレゼント」を実施しました。日本郵趣協会主催〈スタンプショウ2015〉とのコラボ(4月24日～5月3日、プレゼント60名)、日本郵便主催〈メッセージフェスタ2015〉とのコラボ(9月18日～9月27日、プレゼント132名)。

## (2) 記念品の頒布

記念品として、日本及び世界各国の郵便切手類並びにスーベニアグッズを販売しています。

## (3) 市民参画

- ①切手の博物館メンバー「MAY(メイ)」の会員を引き続き募集し、会員にはメンバーニュース「MAY」及び「受入図書リスト」を配布しました。期末の会員数は91名で、内訳はM(メジャー)メンバーが56名、A(アシスト)メンバーが34名、Y(ヤング)メンバーが1名です。
- ②切手はり絵(館内・出張)及び切手たんけん隊の補助役として、登録ボランティア制度を設けています。
- ③切手はり絵に使用する切手の区分には、ボランティア述べ29名の協力を得ました。また、近隣の高等学校ボランティア部活動を受け入れ、切手の区分などを実施しました(6回)。

## 3. 普及啓発事業

### (1) 施設内活動

- ①企画展示「コーヒーとお茶の時間」展において、学芸員によるギャラリートーク(展示解説)を開催しました。(「国際博物館の日」記念事業を兼ねる、参加者20名)
- ②手紙をテーマにした紙芝居の上演会を、心をつなぐ紙芝居の会の協力のもとに開催しました。(9月23日・3回上演、参加者各回約20名)
- ③参加型のイベントを次の通り開催しました。
  - 「体験!切手はり絵」 毎月第3日曜日(5月は「国際博物館の日」記念行事を兼ねる)(参加者522名)
  - 「ちょっとだけ体験!切手はり絵」 平日(参加者93名)
  - 「切手たんけん隊」 夏休み中の土曜日(参加者13名)
- ④「きて★みて★きって2015」会場で、永遠に続く円周率を古切手(日本の使用済み普通切手)で作る「みんなで作ろう!3.14」と題する参加型イベントを開催。作品は「切手はり絵コンテスト作品展」会場にて展示しました。
- ⑤近隣の小学校(目白小)の校外学習、中学校(落合中)の職場訪問を受け入れました。

### (2) 施設外活動

- ①豊島区子どもスキップ(放課後児童施設)において、「出張切手はり絵」を5回開催しました(参加

者87名)。また、切手はり絵ワークショップの材料提供を13施設に行いました。

- ②近隣の中学高校(豊島岡女子学園)の学園祭において、切手はり絵作品の展示を行いました。(11月7日・8日)
- ③学習院生涯学習センターにおいて、講座「切手で見る日本の美術」を行いました。(1月23日)
- ③日本郵趣協会が行っている「切手趣味週間ミニ切手展」キャンペーンに協力し、全国の博物館をはじめ各公共機関44カ所でミニ切手展を開催しました。
- ④日本郵趣協会主催の「ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2015」に協力し、コンクール審査に審査員を派遣しました。

### (3) 広報活動

- ①「美しい昆虫」展及び「体験！切手はり絵」をPRするチラシを作成し、近隣の施設、小学校などに配布しました。
- ②企画展示、特別展示、各種イベントを、ホームページ及びフェイスブックで広報したほか、新聞・ラジオ・テレビ・出版社などに発信しました。2015年度に諸媒体に掲載・放送された回数は、博物館紹介が約15回、展示紹介が約35回、その他が約15回でした。一部の新聞では展覧会情報一覧に企画展示の情報が会期中掲載されました。
- ③切手などに関するマスコミの照会・取材、また単行本や学習教材の挿絵用に切手を使いたいという申込み(約10回)に、積極的に応じています。
- ④郵便切手文化に関する専門誌に展示などの案内をするほか、日本郵趣協会主催の展覧会〈スタンプショウ2015〉へブース出店し、当館のPRに努めました。
- ⑤切手の博物館だより「MAYっこ」を1カ月に1回、豊島区の子どもスキップなどに送り、地域への広報に努めています。
- ⑥日本郵趣協会が発行する切手カタログなどに図版を提供し、専門出版物において財団名をPRしました。

### (4) 他館との交流

- ①箱根ラリック美術館で開催の「ミュシャとラリック」展(4月25日～12月13日)にて、ミュシャがデザインしたチェコスロバキア最初の切手のフルシートを貸し出しました。
- ②「城」展にて、郵政博物館から「姫路城切手」(14円銭単位・普通)の原画を借用し、展示しました(10月27日～11月3日)。
- ③郵趣イベント「We Love Kitte in KINKI」(We Love Kitte 事務局主催、3月20日)にて、デュラックの切手と挿絵を貸し出しました。

## 4. 学術調査研究事業

### (1) 調査研究

- ①紀要編集委員会の査読を経て、研究者の調査研究成果を取りまとめた「研究紀要」(第12号)を発行しました。
- ②日本博物館協会主催の全国博物館長会議、東京都博物館協議会総会・日本博物館協会東京支部総会及び各種研修会に出席し、他館との交流を図るとともに、学術調査研究事業の質的向上に努めています。

③科学研究費補助金の指定研究機関として、諸手続きを行っています。

## (2) 鑑定

郵便切手類の真贋の鑑定を鑑定委員会のもとに行い、154点の鑑定書を発行しました。

## 5. 顕彰事業

「第13回切手はり絵コンテスト」を開催しました。「きて★みて★きって2015」期間中に作品募集を行い、全応募作品302点を展示するとともに、優秀作品には賞状並びに記念品を授与しました。

## 6. 文化支援・助成事業

### (1) 文化支援

①郵便切手文化活動の支援の場として、「切手バザール」(8回)及び「0tegamiフリマ」(2回)を開催しました。「0tegamiフリマ」では豊島郵便局が臨時出張所を開設、小型印の押印サービスを実施しました。

②日本郵趣協会主催の学術調査研究発表会などに3階展示室を提供し、公益活動を支援しました。

### (2) 助成

①郵便切手文化の振興を図るため、日本郵趣協会主催の展覧会〈スタンプショウ2015〉及び第50回全国切手展〈JAPEX2015〉において、特別賞を寄贈しました。

②郵便切手に関する書籍の出版に対して、費用の一部を助成しました(2件)。

③博物館の社会貢献活動の一つとして、エントランスに専用ボックスを置いて紙付き古切手の寄付を募り、集まった古切手は公益法人等に寄贈する活動を続けています。

## II. その他事業

鑑賞・収集の対象となる日本及び世界各国の郵便切手類を、ミュージアム・ショップにて受託販売しています。

## 附属明細書（事業報告関係）

補足すべき重要な事項はないため、附属明細書は省略する。